

令和2年2月10日

研修会報告

文責：真山

日時：令和2年2月8日（土）9：30～15：00

会場：東北医科薬科大学病院

テーマ：宮臨技学術部遺伝子・染色体部門／病理・細胞診部門合同研修会

「FISHの基礎と技術講習」

内容：講演1「FISH検査の実際とその重要性について」

講師：宮城県立がんセンター臨床検査技術部 竹内 美華技師

講演2「蛍光顕微鏡について」

講師：オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社 小川 拓郎氏

実習 「FISH標本作製実習／鏡検実習」

講師：株式会社 常光

生涯教育点数：20点

参加者：会員26名、非会員6名 計32名

協賛：株式会社常光、オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

今回は遺伝子・染色体部門及び病理・細胞診部門との合同で「FISHの実技講習」を開催した。以前より、会員から実技講習を望む声が寄せられていたため、遺伝子・染色体部門と病理・細胞診部門共通の検査であるFISHをテーマに企画・開催した。

最初にFISHの実際とその重要性について宮城県立がんセンターの竹内技師が講演した。FISH検査の意義や院内での運用法について触れ、非常に有意義な講演であった。次に、FISH検査に必要な不可欠な蛍光顕微鏡に関する基礎的知識について、オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社の小川氏に講演してもらった。普段、なかなか聞くことのできない話であり、病理・細胞診を担当している会員にとって貴重な講演であったと思う。

講演後は、株式会社常光とともに実技講習を実施した。参加者を4グループに分け、グループごとに標本作製実習・鏡検実習を行った。標本作製では各々に模擬検体を1枚配布し、試薬調製や熱処理、ハイブリダイゼーションの工程を簡易的に体験することで、FISH検査の流れを学ぶことを目的とした。鏡検実習では、実際にFISH検査を院内で行っている実務員が解説しながらHER2やSYT-SSX、悪性リンパ腫関連（bcl-2/IgH）などの標本を観察し、判定の仕方や観察のポイントなどを学ぶことができた。

研修会後にとったアンケートでは、参加者からは総じて好評であった。「実際に実習を経験することで、興味がさらに大きくなりました」や「用手法だと結構大変そう。結果が安定するのに時間がかかりそうだなあと感じました」などの感想が寄せられ、本研修会を開催する意義があったと確信することができた。今後も会員のニーズにあった研修会を企画することで、宮臨技の知識・技術レベルの向上に寄与していきたい。